

兵庫県指定文化財（有形文化財：工芸品）

昭和 42 年 3 月 31 日指定

古丹波壺 慶長二年ノ銘アリ 1 口

高さ 36cm、口径 13.2cm、底径 14cm

丹波の穴窯時代（鎌倉時代の相当古くから慶長 18 年ごろまで）の年代資料として現在分
明しているものは、

康永三 七月日銘壺（重要美術品）

康永三 九月日銘壺（重要美術品）

貞治二年壬正月日善応寺之常住也

銘三ツ耳壺

天正二 本入卯太郎銘壺

慶長二年井手印銘壺

慶長十八年二月日（署名）銘壺

の 6 点であるが、現在兵庫県下にあるのは慶長の 2 点の壺で、これらは穴窯の末期を示す
年代資料であるが、なかでも慶長 2 年の壺は手印の太さおよび大きさが古い時代のものと
相違する手掛かりとなり、また口辺に窯詰めの際、他のものに乗せて焼いた跡がある。こ
れも古い時代には見られない窯詰めのくふうを示しており、その他このごろの「ねこ掻き」
と称する製作手法など研究途上いろいろな役目を果たしてきた重要な壺である。

引用文献：『昭和 41 年度指定兵庫県文化財調査報告書』兵庫県教育委員会